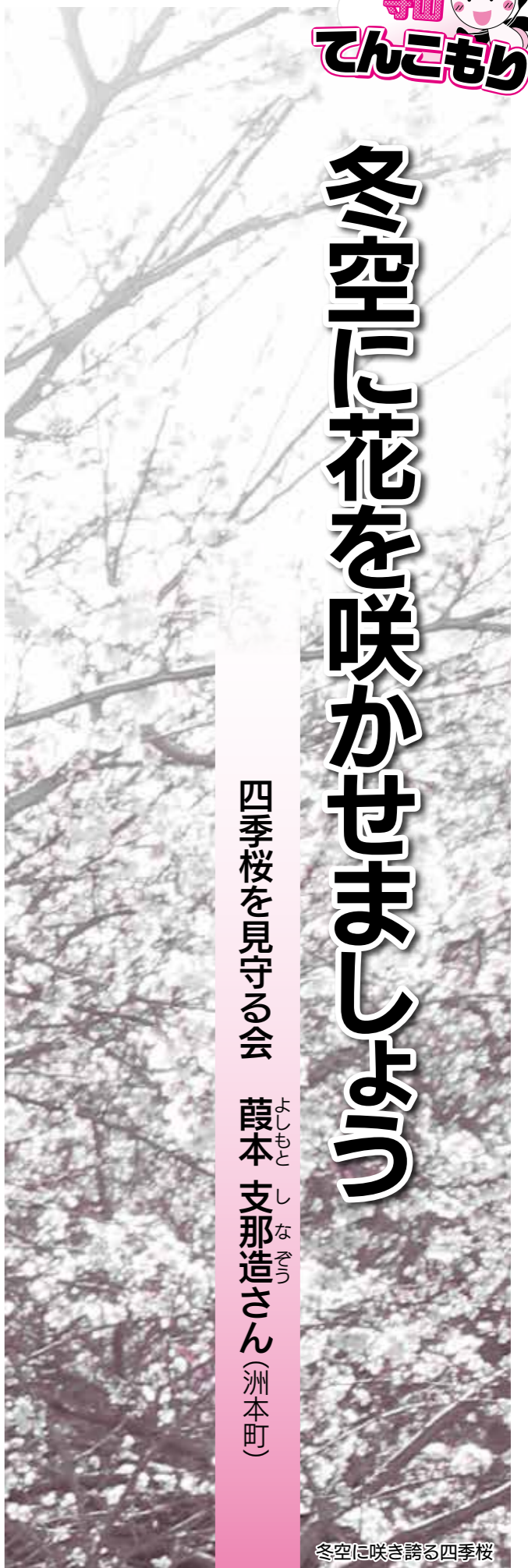


# 冬空に花を咲かせまじょう

四季桜を見守る会

よしもと 支那造さん(洲本町)



豊宮都市公園びわこ地球市民の森(里の森ゾーン)の西端に、晩秋から初冬にかけてピンク色の花を咲かせる桜並木があるのを知っていますか。  
今回は、最初の一本から現在の並木になるまで四季桜を守り続けてきた、洲本町在住の葎本支那造さん取材しました。

## 枯れ色の森に可憐な桜花 並木を楽しむ目印の植樹

四季桜は春と秋の二度。ピンク色の可憐な花を咲かせます。春の桜は市内でもソメイヨシノやシダレザクラなど華やかに咲き競いますが、晩秋の寒空の下枯れ色に染まった森で咲き誇る四季桜の美しさは春とは違う優しい趣があります。晩秋の花期には地域住民が集まって「四季桜のつどい」を開いたり、カメラを手にした

観賞者が来たりします。

びわこ地球市民の森(里の森ゾーン)に植えられている四季桜は11本(平成31年1月現在)。14年前から、わが子のよこに四季桜をかわいがり、毎日世話に訪れる葎本支那造さん。はじめのころは皆、無関心でしたが、今では「桜のおっちゃん」と声を掛けてくれる子どもや散歩中にペットボトルを差し入れてくれる人もいます。

平成31年3月、びわこ地球市民の森「森づくりセンター」前や、子どもたちの大好

きな遊具がある「冒険の森」などに10本の四季桜が植えられました。葎本さんが10年以上にわたって丹精こめて守り育ててきた、四季桜の並木へと来園者を導く目印になればと考えたそうです。

## 未来の森から地域活性へ 夢と期待をこめ最初の植樹

びわこ地球市民の森に最初の四季桜が植えられたのは平成17年でした。野洲川の旧河道に、100年先の未来を見据えたびわこ地球市民の森の整備が進み、葎本さんの自宅から近い国道477号線沿いも着々と工事が進んでいました。森づくりセンターや地元の守山市では、たくさんの人に来てもらい、森林浴などを楽しんでもらいたいと考えていました。

しかし、すぐにワンサカ人出が増えるというわけにはいきませんでしたし、県行政がやっていることだと他人事のように冷やかな目を向ける人も少なくありませんでした。

企業の経営者で、地元住民と「経済勉強会」などを開いて地域の活性化を模索していた葎本さんは、森がその起爆剤になれば良いと考えていました。そんな中、ある雑誌で以前親交のあった人が現役引退後に四季桜を育てているという記事を読んで「これだ」と思ったそうです。

いろいろな人に相談をして、いろいろな人が協力してくれて、ついに水口町の畑からびわこ地球市民の森の西端に最初

の四季桜11本を植えることができました。

## 苦労超えて花を愛でる いつか自慢の桜並木に

森のはずれに植樹した四季桜は、その年のうちに花を咲かせてくれました。「11本では市民は関心を持ってくれない。もっと桜を増やそう。桜並木を作りたい」と喜び、意気込んだのも束の間、もともと繊細な桜の世話はとても大変なことでした。四季桜を植樹した場所は、大雨が降った時に雨水を逃がすため勾配をつけて低くなっている所でした。実際、大雨や台風がくると、溜まった水に浸かって枯れてしまった木がたくさん出ました。葎本さんは四季桜の移植に協力してくれた人々を思い出して心が痛んだといいます。残った四季桜を守るために盛り土をして移植したり、新たな苗木を補植したり、応援してくれる造園業の友人に相談したりと手を尽くしました。もちろん今でも毎日様子を見ていって世話をしています。

葎本さんは「四季桜を通して応援してくれる人や仲間もできました。市民や地域の人たちの関心も高まってきたように思います。多くの人に晩秋の桜を楽しんで欲しい。小さな木も多く桜並木としてはまだまだですが、根気よく自慢の桜並木に育てていきたいと思っています」と話していました。



四季桜のつどい



冒険の森に植樹された四季桜



最新の桜情報：四季桜は葉の後に花が咲きます(9月12日撮影)



丹精こめた桜を愛でる葎本さん

冬空に咲き誇る四季桜